

文学部哲学科 カリキュラムマップ

哲学科には、哲学・倫理学コース及び美学・芸術学コースが開設されており、学生諸君は、いずれかのコースを選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければなりません。コースの選択は、3年次前期の履修登録の際に行います。4年次前期においてコースを変更する場合には、教務委員と面談を行い、検討します。ただし、3年次の登録に際してコースを調整することがあります。

【卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

A 知識・技能

- (DP-A1) 哲学（倫理学・美学・芸術学を含む）のさまざまな概念や理論の知識を有し、それらについて説明することができる。
- (DP-A2) 哲学（倫理学・美学・芸術学を含む）のテキスト（文献）や芸術作品・資料の内容を的確に読み解くことができる。
- (DP-A3) 哲学に隣接する人文・社会科学のさまざまな概念や理論の知識を有し、それらについて説明することができる。

B 思考力・判断力・表現力

- (DP-B1) 哲学（倫理学・美学・芸術学を含む）のさまざまな議論において何が問題になっているかを的確に見出すことができる。
- (DP-B2) 上で見出した問題について論理的・分析的に考え、自らの答えを導出することができる。
- (DP-B3) 上で導出された自らの答えやその導出の過程を他者にわかりやすく表現することができる。

C 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

- (DP-C1) 自ら問題を設定し、その問題に対して主体的に取り組むことができる。
- (DP-C2) 他者の多様な思考や価値観を理解し、自らの思考や価値観を相対化することができる。
- (DP-C3) 他者とともに意見や疑問を提示し合い、協働して答えを探求することができる。

以上の教育目標を達成するために設けられた授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ共通教育プログラムにおいて所定の単位を修得した者に、学士（文学）の学位を授与します。

| 科目群 | | 卒業認定・学位授与方針 (DP) | | | | | | | | | 各科目群の教育目標 | |
|------|-----------|------------------|----|----|-------------|----|----|-------------------------|----|----|-----------|---|
| | | 知識・技能 | | | 思考力・判断力・表現力 | | | 主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度 | | | | |
| | | A1 | A2 | A3 | B1 | B2 | B3 | C1 | C2 | C3 | | |
| 基幹科目 | 演習・卒業論文 | | ○ | | | | | ○ | ◎ | | ○ | テキスト・作品・資料の読解や発表、レポート・論文作成を通して、哲学・倫理学・美学・芸術学の学修に共通して必要な読解力、表現力、主体性、協働性などを身につける。 |
| | 共通科目 | ◎ | | | | ○ | ○ | | | | ○ | 哲学・倫理学・美学・芸術学の学修に共通して必要となる知識、思考力などを身につけるとともに、他者と協働して学ぶ態度を身につける。 |
| | 哲学・倫理学系科目 | ◎ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | 哲学・倫理学のより専門的な学修に必要な知識、テキスト読解力、思考力、表現力などを身につける。 |
| | 美学・芸術学系科目 | ◎ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | 美学・芸術学のより専門的な学修に必要な知識、作品・資料の読解力、思考力、表現力などを身につける。 |
| 展開科目 | | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | 基幹科目で学んだ内容を発展させた内容について学ぶために必要な知識、思考力などを身につけるとともに、自ら主体的に問題を見つけ出していく態度を身につける。 |
| 関連科目 | | | | ○ | | | | | | ○ | ◎ | 関連領域の基礎知識を身につけ、自らの哲学的思考や価値観を相対化する視点を身につける。 |